

(実践報告) 抄録用紙

演題名 (全角 80 字以内)	岩手県内におけるケアマネジャーとの訪問歯科診療の連携状況について
演者名	朴澤弘康、齊藤英朗、佐々木勝忠、三善潤、佐藤保、箱崎守男
所属	岩手県歯科医師会口腔保健センター事業運営委員会

目的

近年、要介護高齢者の介護や福祉の充実を目的とした政策が講じられており、訪問歯科診療もその一つに位置づけられている。しかし介護や福祉の分野では、口腔機能管理の認知度が低いため、訪問歯科診療の普及が遅れているのが現状である。そこで岩手県歯科医師会口腔保健センターでは、連携のキーパーソンをケアマネジャーと位置づけ、モデル事業を展開してきた。今回、モデル事業から県下への広がりを調査したので報告する。

実践内容

岩手県歯科医師会口腔保健センターは、平成 22 年よりケアマネジャーとの連携を推進するために、奥州市歯科医師会と地区ケアマネジャー協議会との間で、地域歯科連携を具体的に協議する作業部会設置を支援してきた。作業部会で考案された連携ツールである F A X 歯科往診依頼システムを同年 11 月運用開始し、4 年経過したが依頼件数は計 158 件となった。平成 25 年からは、県下全域へのケアマネ連携の進展を目的に、各地区にモデル事業の報告や講演を行ってきた。

実践効果

歯科往診に関わるケアマネジャーとの連携の広がりを調査するために、県下 13 地区歯科医師会に対しアンケートを実施した。連携があると回答した地区は、13 地区中 9 地区であり、そのうち 5 地区では、研修会・懇親会なども開催されており、依頼実績も開始早々で少ないながらも実数把握されていた。

考察

アンケートの結果、岩手県内各地域でケアマネジャーとの訪問歯科診療連携が進行していることが明らかとなった。また、モデル事業の経過や成果を周知したことが、各地域でのケアマネジャーとの連携が進展するきっかけとなったと考えられる。